

電子資料の利用について

データベース・電子ジャーナル・電子ブックなどの電子資料の著作権等は著作者及びサービス提供者に帰属し、著作権法及び国際条約により保護されています。

また、サービス提供者が定める利用規約もあり、これらに反する行為は不正利用と見なされ、本学全体の電子資料へのアクセスを遮断される場合があります。

利用については以下の内容を理解し、適正をお願いします。

【不正利用とは】

- ・ 東京理科大学構成員(教職員・学生等)及び図書館長が利用を認めた者以外が利用すること。
- ・ 個人の学術研究・教育目的以外で電子資料をダウンロードすること。
- ・ ダウンロードした電子資料を複製、印刷し、本学構成員以外に頒布すること。
- ・ 資料の全体(ジャーナルの一号全体等)をダウンロードすること。
- ・ 短時間に大量にダウンロードすること。

【大量ダウンロードとは】

- ・ ダウンロードツール等を使用して、短時間に大量の電子資料をダウンロードすること。

大量に当たらない目安は、一日の内に読み切れる程度の量。

- ・ 画面表示もダウンロードとなるため、一部だけを読んで次々と画面表示するのも大量ダウンロードと見なされる場合があります。

Abstract の参照を推奨します。

【重要：ブラウザの先読み機能による大量ダウンロードに関する注意】

- ・ ほとんどの Web ブラウザは「リンク先読み機能」を持ち、標準では機能するようになっています。
- ・ バックグラウンドで利用者の意図しないアクセスが行われ、大量ダウンロードと見なされることがあります。
- ・ 以下を参考に、ブラウザ毎に設定を変更し、当機能を無効にいただいた上でご利用ください。

※なお、ブラウザのバージョンによって設定方法(設定箇所や文言)が異なる場合があります。

「先読み」「プリロード」「バックグラウンドで読み込み」「事前に読み込む」「トップヒット」「予測」「preload」「prefetch」「prediction」等で検索して、設定を確認ください。

Google Chrome

「設定」→(「詳細設定」)を開き、「パフォーマンス」より、「ページをプリロードして、閲覧と検索をすばやく行えるようにする」をオフにする。

Microsoft Edge

「…」→「設定」→「システムとパフォーマンス」→「パフォーマンス」を開き、
「全般」に記載のある「ページをプリロードして閲覧と検索を高速化する」をオフにする。

FireFox

URL 欄に「about:config」と入力して[Enter]キーを押し、コンフィグ(設定)画面を開き、
「network.prefetch-next」を「false」にする。

Safari

「環境設定」→「検索」タブを開き、
「バックグラウンドでトップヒットを事前に読み込む」のチェックをはずす。

Internet Explorer 11 (サポート終了済み)

「ツール」→「インターネットオプション」→「[詳細設定」を開き、
「ブラウズ」の「パフォーマンスを最適化するためにサイトとコンテンツをバックグラウンドで読み込む」の
チェックをはずす。

【文献管理ツールの利用】

※文献管理ツールのフルテキストダウンロード機能(EndNote の Find Full Text 等)の使用により、大量ダウンロードとみなされることがあります。

フルテキストダウンロード機能を使用する際は文献の数にご注意ください。

【アクセスが遮断された時の連絡先】

- ・どのキャンパスからの遮断であっても以下の連絡先にご連絡下さい。

神楽坂図書館

TEL : 03-5228-8133

Email : libk[at]admin.tus.ac.jp

【不正アクセス者への処置】

- ・不正アクセスによる電子資料への遮断が生じた場合、調査を行い図書館は不正利用者に対し相応の処分を行うことがあります。